

動物園でも増やしています

鋼路市動物園でシマフクロウを見ることができます。
1997年に初めて飼育下での繁殖に成功しました。翌98年には人工孵化にも成功しました。（*人工孵化とは、親鳥のかわりにヒトが卵をかえすことです。）



1999年に生まれた
ヒナと両親



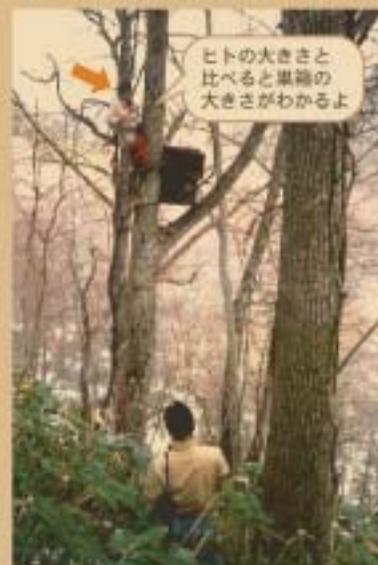
おとうさん
と
おかあさん
ヒナ

Ketupa blakistoni

これ以上減らさないために・・・

天然にわずかに残された
巣のある木

こんな大きな木のほとんどは →
すでに切り倒されてしまいました。



そこで、不足している大木の
かわりに巣箱をかけて子育て
を支援しています。設置した
巣箱の数は170個を超え、
その多くが使われています。
(2004年現在)

シマフクロウの保護活動は20年以上の歴史があります。



食料不足を補うために、
8家族の生息地で池を
作って魚を放し飼いに
しています(2004年現在)。
ひと家族をひと冬養うの
に300~600kgもの魚が
必要です。